

迎春



持続可能な天草市の構築に向けて

天草市長
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。さて、昨年は、九州地域の念願であった九州新幹線の全線開通が実現しましたが、開業直前の3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、これに伴って発生した巨大津波により、東北地方の太平洋沿岸部を中心に壊滅的な被害を与えました。この大震災は、国や自治体、そして私たちの防災意識に大きな変化を与え、とともに、防災やエネルギー

問題など多くの課題を提起しました。私たちは、これらの課題について、中長期的な視野に立つて解決策を検討し、実行していく必要があります。このような中、本市は、合併特例期間10年の後半に入りました。残りの期間は、学校規模適正化に伴う小・中学校の建設、市営体育館や本庁舎の建設などの大規模な事業に取り組みながら、将来にわたって持続可能な天草市を構築していかなければなりません。そのために、行財政改革の徹底はもちろんのこと、時代の変化を的確にとらえ、市の抱える喫緊にして重要な諸課題に対しては、前例にとらわれずに議論を重ね、市民の皆様と行政との「協働のまちづくり」を念頭に進めてまいりますので、本年も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が、市民の皆様にとりまして、健康で喜びと幸せに満ちあふれた1年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

行政と市民との協働による

まちづくりを

天草市議会議長
本田 武志

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、世界は情報化の進展により、グローバル化の一途にあります。わが国は本格的な人口減少社会を迎える中、少子高齢化も相まって、人と人との絆が絶たれる「無縁化」が新たな問題となっております。このような中、昨年3月に、東日本大震災が発生しました。多くの尊い命、財産を奪うたいへん痛ましい

災害ではありましたが、この震災を機に、助け合いの精神や他人を思って行動するといった「思いやりの心」が、全国的な広がりを見せました。ここ天草市においても、長引く不況を始め、人口減少、少子高齢化など、問題は国以上に深刻化し、地域コミュニティの崩壊が危惧されているところがございますが、天草の地には、代々受け継がれはぐくまれてきた、豊かな人情、地域の固い絆がございます。

今後は、地域における支え合いを充実させるためにも、市民相互が確かな絆を結び、また、市民と行政が確かな信頼関係を築き、共に力を合わせ、行政と市民との協働によるまちづくりをさらに推進していかなければなりません。

市議会といたしましても、天草市を住みよい社会にするため、今何をすべきか、何が必要なのか、常に問題意識をもって、誠心誠意、全力を傾注する覚悟でございます。今後ともさらなるご理解とご支援のほどをお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

栖本町・白戸漁港からの眺望 (12月12日撮影)



市民の皆様
あけまして
おめでとうございます

天草市
市長 安田 公寛
副市長 古田 勝人
天草市議会議長 本田 武志
副議長 松江 雅輝

議員
池田 次人
北野 鋼一
濱崎 昭臣
江浦 政巳
吉川 徳澄
大塚 基生
楠本 千秋
中村 五木
平山 泰司
脇島 義純
池田 裕之
田中 茂
赤木 武男
鎗光 秀孝
中村 三千人
船辺 修
蓮池 良正
若山 敬介
勝木 幸生
宮下 幸一郎
中尾 友二
古賀源一郎
浜崎 義昭
黒田 忠広
奈良崎 利幸
福岡 啓子
濱洲 大心
鶴戸 継啓